

昭和四十九年九月招集

第三回館山市議定会定例会會議錄第一号

館山市議會

目次

日時	一
場所	一
出席議員	一
欠席議員	一
出席説明員	一
出席事務局職員	二
議事日程	二
開會	三
議長の報告	三
議案の配付	三
會議録署名議員の指名	三
会期の決定	三
提案理由の説明	三
認定第一号ノ認定第七号	五
報告第二号	五
議案第六十三号ノ議案第七十号	五
休會	二〇
延會	二一
本日の會議に付した事件	二一

(内容説明)

一、昭和四十九年九月十七日(火曜日)午前十時

二、館山市役所議場

三、出席議員 二十九名

一	一番	吉田 勇治郎	二	一番	林 豊
三	三番	流山 源次郎	四	四番	鈴木 稔
五	五番	近藤 好雄	六	六番	栗原 一雄
七	七番	渡辺 昭夫	八	八番	石井 武敏
九	九番	辻田 実	一〇	一〇番	渡辺 軍治郎
一	一番	山本 昇	一一	一一番	藤田 益治
一	一番	五十嵐 昇	一二	一二番	伊賀 多朗
一	一番	和田 一郎	一三	一三番	伊賀 多朗
一	一番	安西 益男	一四	一四番	井野 謹爾
一	一番	君塚 喜三	一五	一五番	島野 茂樹郎
二	二番	田村 源治郎	一六	一六番	鈴木 市蔵
二	二番	西村 真次	一七	一七番	鈴木 敏博
二	二番	飯田 義男	一八	一八番	安沢 徳順
二	二番	田中 禄郎	一九	一九番	望月 照正
三	三番	遠山 ヨネ子	二〇	二〇番	秋山 六三郎

一、欠席議員 なし

一、出席説明員

市長 本間 譲	助役 畠山 伝
収入役 高木 哲三	秘書課長 太田 博雄
人事課長 小沢 正治	企画課長 伊藤 幸太郎
庶務課長 小倉 澄男	財政課長 長谷川 広治
市民課長 横澤 功	税務課長 越路 良夫

収納課長	羽山房雄	商工課長	鈴木力
農産課長	石井謀	水産課長	谷貝茂生
保健課長	網島憲治	衛生課長	館石勘治
土木課長	飯田治男	建築課長	佐野甲子郎
交通防犯課長	山口一	交通防犯課主幹	岩田実
市民センター長	角田	鳩山支那人	野中圭太郎
福祉事務所長	斎藤武	水道課長	大嶋重義
教育委員	安田豊	兼衛生課主幹	
教育委員	佐野啓男	庶務課長	汐崎政光
学校教育課長	佐野哲男	教育委員	川上賢爾
教育委員	佐野哲男	選挙管理委員書記長	高山隆男
社会教育課長	佐野哲男	農業委員	岩崎一郎
監査事務局長	榎本繁	事務局	

一、出席事務局職員

事務局長	高尾豊	事務局補佐	藤田元始
書記	兵藤恭一	書記	鈴木哲
書記	安西良一	書記	川上義雄
書記	福田英雄		

一、議事日程(第一号)

昭和四十九年九月十七日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名
日程第二 会期の決定

認定第一	一号	昭和四十八年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第二	二号	昭和四十八年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第三 報告第二

認定第三	三号	昭和四十八年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第四	四号	昭和四十八年度館山市休養施設特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第五	五号	昭和四十八年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第六	六号	昭和四十八年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第七	七号	昭和四十八年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
報告第二	二号	安房中央土地改良区の経営状況説明書の提出について
議案第六十三号		あらたに生じた土地の確認について
議案第六十四号		あらたに生じた土地を市の区域内に編入することについて
議案第六十五号		字の区域及び名称の変更について
議案第六十六号		財産の取得について
議案第六十七号		千葉県競輪組合規約の変更について
議案第六十八号		館山市基本構想を定めることについて
議案第六十九号		昭和四十九年度館山市一般会計補正予算(第一号)
議案第七十号		昭和四十九年度館山市水道事業特別

会計補正予算(第一号)

開

会 午前十時四分開会

○議長(吉田勇治郎君) 本日の出席議員数二十七名、これより昭和四十九年第三回市議会定例会を開会いたします。

議長の報告

○議長(吉田勇治郎君) この際申し上げます。私このたび全国市議会議長会の会長指名により国会対策委員会委員の推薦を受けました。もとより微力ではございますが、一生懸命努力いたす覚悟でお引き受けいたしましたので、今後皆さま方の一そりの御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本定例会議案審査のため地方自治法百二十一条の規定による出席要求に対し、お手もとに配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

なお、監査委員より六月ないし八月実施の監査の結果が報告されております。それぞれお手もとに配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長(吉田勇治郎君) 議案を配付いたさせます。議案の配付漏れはございませんか。―配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

会議録署名議員の指名

○議長(吉田勇治郎君) 日程第一、会議録署名議員の指名を行ないます。

一二番議員藤田益治君、二一番議員鈴木市蔵君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長(吉田勇治郎君) 日程第二、会期の決定を行ないます。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本九月十七日から十月一日までの十五日間ということであります。

おはかりいたします。会期を十五日間と定めますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって会期は九月十七日から十月一日までの十五日間と決定いたしました。

提案理由の説明

○議長(吉田勇治郎君) この際本定例会招集につき市長のあいさつ並びに提案理由の説明を求めます。

(市長本間 譲君登壇)

○市長(本間 譲君) 本日は九月の定例議会をお願いした次第でございます。議員の皆さま方にはたいへん御多忙のところ御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

これより提案理由につきまして御説明を申し上げます。本日ここに第三回定例市議会を招集し、当面する諸案件について御審議願うことといたしました。今回提案いたしました

案件は認定七件、報告一件、一般議案六件、補正予算二件でございます。以下概要について御説明いたします。

まず認定といたしましては、昭和四十八年度の一般会計及び特別会計の決算を了しましたので、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものでございます。

次に報告としましては、安房中央土地改良区の経営状況について報告するものであります。

次に一般議案としましては、まず館山市基本構想を定めることについてであります。これは館山市の総合的かつ計画的な行政の運営をはかるための基本構想について、かねてからお約束のとおり今回提案した次第であります。

次にあらたに生じた土地の確認について及びあらたに生じた土地を市の区域内に編入することについてであります。本年一月の臨時市議会において西岬地区の各漁港にかかわる公有水面埋め立て追認について県知事の諮問に対し異議ない旨答申したところこのたび県知事から竣工認可した旨の通知がありましたので、この土地の確認及び字の区域の編入について議会の議決を経てこれを決定しようとするものであります。

次に千葉県競輪組合規約の変更についてであります。これは組合議員の定数について変更しようとするものであります。

次に字の区域及び名称の変更についてであります。これは自然休養村整備事業の一環としてやっております布沼及び上郷地区の区画整理を実施するにつき、字の区域及び名称の変更をしようとするものであります。

次に財産の取得についてであります。県立館山高等学校の移転

に伴うあと地及び建物を学校施設用土地建物として購入しようとするものであります。

次に補正予算としましては、一般会計で歳入歳出予算として三千六百八十五万三千円の追加と債務負担行為の補正をお願いするものであります。

主な内容としましては、議会費として図書購入費百万円、これは市議会の各種調査及び研究に必要な図書を購入するよう寄付申し込みのありました百万円を財源としたものであります。

総務費としましては、交通安全施設整備工事費で三百九十一万二千元、法人市民税の更正決定に伴う還付金及び加算金で二百一十六千円。

民生費として心身障害者医療給付等の扶助費で三百六十三万三千円。

水産業費として洲崎漁港局部改良工事費四百九十万円。

消防費として第六分団第十四部の消防自動車購入費三百五十万円。

教育費として柔剣道場新築工事費の追加分として二百万円。

災害復旧費として昨年十月の大雨による復旧工事費八百五十七万等であります。

以上の財源としましては、国、県支出金等の特定財源で千三百六十一万三千円、その他を一般財源をもって充当しようとするものであります。

なお、債務負担行為の補正として、館山高校のあと地買収費について債務負担行為により措置しようとするものであります。

次に水道事業特別会計につきましては、収益的収入及び支出、

債務負担行為、資産の取得等について補正をお願いするものであります。

このほか今会期中人権擁護委員候補者の推薦ほか一件の追加の議案を予定しておりますので、上程の上はよろしく慎重な御審議をいただきまして、ぜひ御了承をいただきたいと存じます。

詳しいことにつきましては教育長、各課長等より説明をいたさめますのでよろしくお願い申し上げたいと存じます。

以上申し上げます、提案理由の説明といたします。

○議長（吉田勇治郎君） 以上で市長のあいさつ並びに説明を終わります。

議案の上程

○議長（吉田勇治郎君） 日程第三、認定第一号乃至第七号、報告二号及び議案第六十三号乃至議案第七十号を一括して議題といたします。

議案の内容説明

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。

ただいま議題となりました各案件は、本日はこれが内容説明のみといたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって決しました。

この際、おはかりいたします。

ただいま議題となりました各案件は朗読を省略して、直ちにこ

れが内容説明を求めたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって決しました。

これより順次説明を求めます。まず決算認定は一号から七号までを一括して行ないます。

認定第一号 昭和四十八年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について

認定第二号 昭和四十八年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第三号 昭和四十八年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第四号 昭和四十八年度館山市休養施設特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第五号 昭和四十八年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第六号 昭和四十八年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第七号 昭和四十八年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について

（市長本間 護君登壇）

○市長（本間 護君） ただいま上程されました決算につきまして概要を御説明申し上げます。

昭和四十八年度は石油問題の発生が物価高騰にさらに拍車をか

けるといふかつてないきびしい状態の中で、住民の行政に対する要請を的確に把握しながら経費の節約と合理化をはかり、行財政の計画的、かつ効果的運営に努力してまいりました。

予算執行にあたりましては、年度当初施政方針に述べましたように産業、教育、観光、福祉の四本の柱を市政の基盤として、従来からの施策を引き続き推進するとともに、あらたに館山小学校、第二中学校の防音改築工事、公民館の新設、医療給付制度の拡大、特別老人年金制度の実施、市道舗装四カ年計画の完成、若潮国体、作名ダム建設の着手など各般にわたり住民福祉の増進と住みよい社会の建設につとめる一方、財政の健全運営をはかるための財源の確保に最善の努力を傾注するとともに、住民負担の軽減に留意し、最小の経費で最大の効果を上げるよう努力してまいりました。

この結果、昭和四十八年度一般会計において実質一億一千四百三十二万余円を繰り越すことができ、特別会計におきましても独立採算を基本としてその運営の合理化、適正化につとめました結果、それぞれ黒字決算を遂げることができました。これはひとえに市議会議員各位の御協力のたまものと深く感謝を申し上げますと存じます。

以上、決算につきまして概略を申し上げましたが、詳しいことにつきましては決算の上程のつど説明を申し上げますので、よろしく御検討賜りたくお願い申し上げますので私の説明を終わりたいと思います。

報告第二号 安房中央土地改良区の経営状況説明書の提出につ

いて

〇農産課長（石井 謀君） 報告第二号安房中央土地改良区の経営

状況につきまして御説明申し上げます。

まず最初に昭和四十八年度の安房中央土地改良区域内における経営事業の内容から御説明申し上げます。説明書の四ページをお開きいただきたいと思っています。

一四ページに昭和四十八年度の事業報告書がございます。この中欄にございます第二の事業報告でございますが、まず中央ダム関係から申し上げます。

ダム工事は昭和四十五年度に完成をみております。それ以後は幹線水路を逐年実施しております。その中で本年度工事の工事及び施行方法が中に明示してございます。本年度は用水路工事のみであり、全延長二万七千七百メートルのうち昭和四十八年度までには延長一万一千九十九・一メートルが完成いたしました。本年度はトンネル及びサイフォン延長三千八十八・五メートルを施行する予定であります。これは施行いたしました。翌年度以降事業費は延長一万三千五百十二・四メートルでございます。以下一五ページにこまかい各幹線につきまして延長並びに施行いたしました地域の内容をお示ししてございます。

次に県営沼場整備事業の関係を申し上げます。東部地区、これは九重地区の一部、それから館野の腰越、広瀬、なお三芳地区が一部ございますが、この地域の基盤整備を四十八年度から実施しておりますわけでございますが、四十八年度におきまして館山市関係では腰越十六ヘクタール、広瀬四十ヘクタール、江田三ヘクタール、田辺十三ヘクタール、館山市関係で七十二ヘクタールの区画整理を実施したわけでございます。この関係につきましては、要するに生産調整の関係で夏施行を二十八・五ヘクタール実施して

おります。

次に決算の内容を申し上げたいと思います。一ページを開き
いただきたいと思ひます。決算内容は先ほど申し上げましたよう
に幹線水路関係が主な事業でございますが、三千八十八・五メー
トルの総事業費が三億九千九百七十六万円であつたわけでござい
ます。その二五％に匹敵する額の賦課金並びにそれに要する農林
漁業金融公庫からの借入金ということが決算の主なものござい
ます。

まず二ページの歳入の主なものだけを申し上げますと、組合費
で収入済額が五千二百十五万三千八百三十円でございます。収納
率が八四・五七％でございます。

次に雑収入の三百九十一万九千六百六円、これは新規加入二十
ヘクタールが計上してございます。

次に三ページ過年度収入の未収賦課金の二百四十二万七千四百
十八円が計上してありますが、これは三芳の中が未収賦課金を支
払つたということでございます。

次に五款の借入金金の九千八百九十万円でございますが、これは
本年の三月議会におきまして債務負担行為を議決いただきました
額でございます。

総合計で歳入が一億五千五百四十六万三千九百三十六円に相な
っております。

次に歳出の主なるものを申し上げますと、まず事務費でございま
すが、これが一千百二十三万三千二百九円に相なっております。

次に大きなものを申し上げますと、六ページの償還金の三千百
九十二万一千二百十九円、これは四十八年度におきまるところの

元金償還及び利子の償還分でございます。

次に七ページの負担金、分担金の一億五十万五千五十円でござ
いますが、そのうちで県宮安房中央用水改良事業の負担金とい
しまして九千九百九十三万四千円計上してございますが、これは
四十八年度の事業費三億九千九百七十六万の二六％に該当する額
でございます。

以上が主なる歳出の内容でございますして、八ページにございま
す総額一億四千九百七十六万三千二百二十二円ということに相な
っております。

次に九ページの東部地区の県宮ほ場整備事業の決算内容を申し
上げます。

歳入の総額が五千百七十一万二千七百七十四円、歳出の合計が四千
九百六十九万一千七百五十七円、差引残金二百一万八千五百十七
円に相なっております。

歳入の主なるものを申し上げますと、まず組合費の七百六万三千
三百円が収入済額でございます。

次に借入金金の三千三百七十七万円でございますが、これは基盤
整備、要するに区画整備事業の不足額が一億三千五百八十万六千
円でございますが、その二五％にあたる額が三千三百七十七万
円に相なるわけでございますので、これを農林漁業金融公庫から借
入いたしましたわけでございます。

歳入の合計が五千百九十一万二千七百七十四円ということに相な
っております。

歳出の主なるものを御説明申し上げますと、これに関する事務
費的なものが百四十四万五千百九十八円に相なっております。

次に一二ページの中ほど償還金の中で安房中央東部地区調査設計会計廃止により引継債務償還金中千二百三十四万二千二百八十一円に相なっておりますが、これは東部地区の会計ができる前に設計費というものが別な会計であつたわけでございますが、これを歳入の欄で申し落しましたが、市から千七十万の補助金によりましてこれを返済するということに相なっております。

その次に三の負担金、分担金でございますが三千四百六十一万一千円でございますが、これは県営沼場整備事業の二五％に該当する額を県に分担金として納入した額でございます。

歳出の合計が四千九百六十九万一千七百五十七円に相なっております。

次に四十九年度の事業計画につきましては一九ページにお示ししてございます。四十九年度の事業計画につきましては総事業費要するにダム工事関係の幹線水路の関係で四億を予定しております。延長が二千四百七十五メートル、これは四路線を行なうことで進んでおります。

県営沼場整備事業としましては、東部地区としまして二億、これは面積的には六十ヘクタールでございます。九重地区の江田三十二、三芳が二十八ということで計六十でございます。

次に安房中央西部地区でございますが、四十九年度から西部地区、那古、北条、上野原、高井、館野地区の国分、那古地区、この地区を西部地区としておりますが、四十九年度を初年度としまして約四百ヘクタールの基盤整備を行なっているわけでございますが、初年度として二十四ヘクタールを見込んでございます。最初に八幡と川崎地区を初年度に実施する予定でございます。

以上が実施計画でございますが、以下二〇ページからはこれに要する経費の事務所費並びに事業費の二五％に相当する額の賦課金並びに借入金、それから歳出の面におきましては分担金等が主な歳出でございますので、説明書によって御了承をいただきたいと思ひます。

以上ではなほだ簡単でございますがよろしく御審議のほどをお願いいたします。

議案第六十三号 あらたに生じた土地の確認について

議案第六十四号 あらたに生じた土地を市の区域内に編入することについて

〇庶務課長（小倉澄男君） 続きまして議案第六十三号と六十四号関連議案でございますので、合わせて御説明申し上げたいと思ひます。

六十三号と六十四号でございますが、これは先般の一月臨時議会におきまして御承認をいただきました結果の、公有水面の埋め立ての結果の処理でございます。館山市関係の漁港、川名漁港、栄ノ浦漁港、波左間漁港、香漁港、洲崎漁港の五カ所におきまして公有水面を埋め立てましたものが竣工いたしましたので、建設されました知事の認可ができましたので、地方自治法第九条の五第一項の規定によりまして、六十三号議案におきまして新たに生じた土地を確認していただきたいという議案でございます。

そして、その確認されました土地をさらに自治法二百六十一条の一項の規定によりまして館山市の区域内に編入いたそうという議案でございます。それぞれ記載されております土地を新しく川名漁港は字芝崎、栄ノ浦漁港は字以良世、波左間漁港は字和田、

香漁港は字中浜、洲崎漁港は字間口、この字に編入いたしたいというような議案でございます。

よろしく御審議のほどをお願いいたします。

議案第六十五号 字の区域及び名称の変更について

〇庶務課長（小倉澄男君） 続きまして六十五号の議案につきまして御説明いたします。

これは自治法二百六十条の第一項の規定によります議案でございます。自然休養村の一環といたしまして布沼大神宮地区におきまして花卉栽培をいたしますための区画整理をいたしまして、機械力を導入して労働力を省力化しようということでございます。それに関連いたしまして字の区域及び名称を変更いたしたいというのがこの裏にございます。それぞれの大神宮並びに布沼の字の中の地名をそれぞれ記載されておりますような字に変更いたしたいということの議案でございます。

よろしく御審議のほどをお願いいたします。

議案第六十六号 財産の取得について

〇財政課長（長谷川広治君） 議案第六十六号につきまして御説明申し上げます。

財産の取得関係でございますが、現在県立館山高等学校として使用をいたしております土地、建物でございます。それぞれ財産の表示として記載をいたしておりますが、これを現在の予定として学校施設用の土地、建物として県より払い下げを受けたいというところでございます。

取得の方法としては随意契約、金額といたしまして三億五千九百四十三万円。これを土地と建物にそれぞれ区分けをいたしまし

て契約を結びたいというふうに考えて提案いたしました次第でございます。

よろしく御審議のほどをお願いいたします。

議案第六十七号 千葉県競輪組合規約の変更について

〇財政課長（長谷川広治君） 続きまして議案第六十七号につきまして御説明いたします。

千葉県競輪組合規約の変更でございます。今回の変更はお示しをいたしましたとおり第五条のうち我孫子、鴨川、鎌ヶ谷、君津、富津、新しい市でございますが、この五市についての議員定数だけの改正でございます。

御案内のように競輪組合の議員の定数は旧市八つでございますが、八市は二名ずつ十六名、新しい市十一市、これは各市一人で十一名、それから最も新しい五つの市が、五つの市のうちで相談して三名選出するということで、定数が三十名ということになっていたわけでございます。その後いろいろな状況からいたしまして、やはり最低各市に一名の組合会議会の議員の定数を置いたほうがというようなことで、それぞれの協議が整いまして今回提出をいたしましたものでございまして、五条にいろいろ書いてございしますが、要するに一番新しい市にそれぞれ一名ずつ定数を置くというような改正でございます。

よろしく御願いたします。

議案第六十八号 館山市基本構想を定めることについて

〇企画課長（伊藤幸太郎君） 議案第六十八号につきまして申し上げます。館山市の基本構想を定める件でございますが、自治法の第二条

第五項の規定によりまして基本構想を上程いたすものでございます。

この基本構想は別冊としてございますが、昭和六十年を一応めどにいたしまして館山市を明るく豊かな文化福祉都市を目ざしたい、これを館山市の将来像として考えてまいりたいということです。

本案につきましては、先に総合計画審議会におきまして御提案申し上げて慎重御審議をいただきました結果、大綱においてはおおむね適切であるという御答申をいただいたものでございます。内容につきましてはここにお示ししてあるとおりでございますので、よろしく御審議いただきたいと思います。

○議長（吉田勇治郎君） 暫時休憩いたします。

午前十時五十二分 休憩

午前十一時 十四分 再開

○議長（吉田勇治郎君） 休憩前に引き継ぎ会議を開きます。

説明を求めます。

議案第六十九号 昭和四十九年度館山市一般会計補正予算（第一号）

一

○財政課長（長谷川広治君） 議案第六十九号昭和四十九年度一般会計補正予算第一号について御説明を申し上げます。

今回の補正予算におきましては、第一条にお示しをいたしましたとおり歳入歳出予算の補正、第二条でお示しをいたしてございまず債務負担行為の補正二件でございます。

歳入歳出予算につきましてはそれぞれ三千六百八十五万三千円を追加いたしまして、予算の総額を四十億八千五百十万三千円と

する予定のものとございます。歳入歳出予算のうち歳入の純追加額につきましては総額三千八百八十二万九千円、更正減額をいたします金額が百九十七万六千円でございます。歳出におきまして純追加額が四千二百三十一万五千円、更正をいたします額が五百四十六万二千円、差し引きいたしましてそれぞれ追加をいたしますのが三千六百八十五万三千円ということになります。

第二条の債務負担行為の追加でございますが、今回二件の追加でございます。

一つといたしまして、先ほど議案六十六号で御説明申し上げました学校施設用土地建物購入費といたしまして、昭和五十年から五十九年度まで十年になります。取得いたします経費三億五千九百四十三万円にそれぞれ取得に要します金額をかけたものを債務負担として支払いたい、かようなものでございます。

それから二つ目といたしまして、中央保育園用の土地購入費、五十年から五十二年と三年でございますが、取得価格が三千二十万円及びこれに因する経費をそれぞれ三年間の間に債務負担で支払っていきたいというように考えて計上してございますが、現在のところ二件とも市の開発公社に事務委託をする予定のものでございます。

なお、詳しい点はそれぞれ主管課長より説明をいたします。

以上が総括説明でございます。

次が歳出に移ります。一三ページでございます。議会費におきまして今回百十二万円を計上いたしてございます。計上後の額が七千三百六十八万九千円という予算額になります。主なものといまして歳入でも御説明申し上げますが、本間市長より議会用

図書室の図書購入費として百万円の寄付がございましたので、これを受け入れまして備品費として百万円を計上してございます。

原材料費十二万円は、この図書を納入するための戸棚の材料費でございます。

○企画課長（伊藤幸太郎君） 二款の総務費のうちの企画費の十五万でございますが、これは今回千葉県南部におきますところの地域振興構想策定協議会というものが新たにできたわけでございます。この目的は県南部地域におきますところの振興整備に関します基本構想の策定が主な仕事でございますして、その目的としまして協議会ができ上がったわけでございます。この構成員は本市を含めますところの八市二十一町村で結成されたわけでございます。その協議会に對しまして本市の負担金でございます。

○交通防犯課長（山口 一君） 続きまして一〇目交通安全対策費につきまして御説明申し上げます。

工事請負費といたしまして今回三百九十一万二千円を追加をお願いするわけでございます。これは市道一四五号線に新たに歩道を設置する費用といたしまして総四百八十万を予定しております。

○収納課長（羽山房雄君） 続きまして二項の徴税費二目の賦課徴収費におきまして二百七十九万六千円の追加をお願いいたしました。このうち八節の報償費につきまして市、県民税、固定資産税の前納報償金として六十八万円、それから二三節の償還金利子及び割引料において二百一十一万六千円、これは法人市民税の更正による還付金並びにそれに伴う還付加算の年度の不足額をそれぞれお願いしたわけでございます。当初予算に計上した不足額をここでお願いする次第でございます。

○選挙管理委員会書記長（高山隆男君） 続きまして一四ページ四項選挙費一目的選挙管理委員会費一八節備品購入費で四十五万円の追加をお願いするものでございますが、これは投票用紙の計数機を一台購入しようとするものでございます。当初予算で一台お願いしてございますけれども、開票事務の投票用紙を計算する機械でございますが、開票のとき二度数えるということで、二台あったほうが良いということでこれは県の半額補助ということでございますが、今回これをもう一台お願いしたいということでございます。

○庶務課長（小倉澄男君） 引き続きまして一四ページの統計調査費につきまして御説明申し上げます。

各目の差し引き合わせまして総額で三十万四千円を補正いたそうというようなことでございまして、各目のそれぞれの指定統計の県、国の支出金特定財源が通知がございましたので、それに伴いましてそれぞれ補正をいたしました結果このようになった次第でございます。

なお、各目の各節の付記につきましては説明欄に書いてございますので、これによりまして御了承いただきたいと思います。

以上でございます。

○福祉事務所長（斎藤武男君） 一七ページ三款民生費につきまして御説明申し上げます。

一社会福祉費におきまして三百六十四万六千円の補正をお願いするわけでございます。

一九節負担金補助及び交付金の関係でございしますが、心身障害者の扶養年金の納付負担金が一名増ということで五十二名になっ

たわけでございますが、一名増の負担金でございます。

二〇節の扶助費三百六十三万三千円でございますが、このうちの心身障害者の医療給付の百七十二万一千円でございますが、これは一級から四級までの五百九十名に対する医療給付でございます。この不足の追加をお願い申し上げます。

次の身障者補装具の交付でございますが、補装具の二二%の増ということと基準改定がございまして、それと補装具の件数がふえたわけでございます。そのための補正でございますが、現在交付件数三十三件でございます。

次の身障者の施設収容援護扶助費の四十五万二千二百七十五円でございますが、これもやはり基準改定がございまして三万五千四百円が四万五千四百円、基準改定によりますものと、さらに一名増が見込まれますのでこの不足額をお願いするものでございます。

次の身障者の更正医療扶助費五十七万五千六百十二円でございますが、現在三名人工透析、じん臓手術等を行なっておるわけでございます。さらに二名追加が予定されますのでこの分をお願いしてございます。

次の精薄者の施設収容の援助費でございますが三十九万六千三百三十二円、これもやはり基準改定がございまして四万八千六百二十七円が五万四千三百六十円と基準改定によるものでございます。

次の精薄者の職親の關係でございますが、袖ガ浦の福祉センターに収容中の者がこのほど近くの酪農家に就職いたしましたして、その職親の委託費でございます。一日百円の割合になつてゐるわけでございます。

次の二項の老人福祉の關係でございますが、老人福祉センターの關係になつております七十六万七千円の補正をお願いしてございますが、まず一節の需用費七十四万二千円でございますが、暖房用燃料費四十二万二千八百八十円、B重油を使用しているわけでございますが、これがリッター十円が二十一円三十銭になりまして、これによりますところの不足額でございます。

次の自動車用燃料費四万六千二百九十円でございますが、これはマイクロバスの燃料でございます。

それから光熱水費二十万五千六百五十一円でございますが、これも電灯料の値上げによるものでございます。

修繕料六万六千九百円でございますが、マイクロバスの車検に要しますところの修繕料でございます。

次の一二節の手数料、二七節の公課費の關係でございますが、それぞれ車検手数料によりますところの損害保険、あるいは自動車重量税というものでございます。

よろしく願ひいたします。

〇水産課長（谷貝茂生君） 一八ページをお願いいたします。六款の農林水産業費の水産業費につきまして御説明申し上げます。

今回洲崎漁港の局部改良工事の請負として四百九十万追加補正をお願いするものでございます。洲崎漁港は狹隘を感じてまいりましたので、もう広げなくちゃならないということでいろいろ設計等やってみました、相当経費がかかるということで国の助成を待つてやりたいということ、本年度予算編成前に県を通じましていろいろと折衝をいたしました、どうしても本年は無理だということをやむを得ず当初予算には計上しておりませんでした。

けれども、年度半ばにおきまして追加が認められましたので今回お願いするわけでございます。

事業といたしましては、本年度一応二千二百万で二カ年間でやれということで、防波堤、泊地掘さく、物揚げ場、船揚げ場と工事内容がございしますが、二カ年でやれということで本年度一応五百万の事業費が認められましたので、防波堤と泊地掘さくを一応予定してお願ひするものでございます。

なお、これは八割国の補助がございまして、県の補助金として別途収入のほうにも見込んでございます。

よろしくお願ひいたします。

○商工観光課長（鈴木 力君） 次にございます七款の商工費につきまして御説明申し上げます。

商工振興費の十五万円でございますけれども、館山市物価問題協議会補助金といたしまして今回十五万円の追加をお願いしたものでございます。六月末に開催いたしました不用品交換会の運営費の一部に本協議会の支出をお願いいたしました関係と、十月の下旬に開催を予定しております消費生活展の開催費用の一部にあつてためと、そのほか先般県で実施いたしました観光地における生鮮食料夏季流通実態調査をやったわけでございますが、この報告書ができ上がりまして、これを八十部ばかり物価問題協議会におきまして購入いたしましたので、近く物価問題協議会を開きましてこれらの報告内容を検討したいということで、その経費を計上させていたいただいております。

それから観光費におきまして自動車購入費として六十三万円をお願いしておりますけれども、現在誤で使用しております車が

非常に古くなりましたので、今回ライトバンの購入をお願いする次第でございます。

○土木課長（飯田治男君） 土木費の土木総務費の四十七万三千円の減額補正でございますが、これは一一款の災害復旧費に関連がございしますので、一緒に御説明申し上げます。

二二ページの一一款災害復旧費二目土木施設災害復旧費について御説明申し上げます。昨年十月二十八、二十九日の豪雨によりまして災害を受けました箇所につきまして、先般国より予算の内示がございましたので今回九百七十一万一千円の追加補正をお願いするわけでございます。場所は伊戸、道路の災害復旧といたしまして大戸―畑線の山藪地内、佐野―豊房線の佐野地内、河川災害復旧といたしまして普通河川巴川の大神宮地内、神余地内の二カ所計四カ所についてでございます。これは事務費につきましても補助の対象ということでございますので、土木総務費で減額補正いたしましたものもこの人件費、需用費につきまして追加補正いたしております。

工事請負費八百五十七万につきましては、先ほど御説明申し上げました四カ所につきましても災害復旧工事請負費でございます。以上簡単でございますが、よろしくお願ひいたします。

○建築課長（佐野甲子郎君） 一九ページの住宅管理費につきまして御説明申し上げます。

一四節の使用料及び賃借料十三万九千円につきましては、現在市営住宅青野団地の敷地として国分地区の所有者より借用いたしております土地の四千五百六十三平方メートルの借上料を三・三平方メートルあたり百円増額しようとするものでございます。

一五節工事請負費百五十万円につきましては、現在菅野団地に建設されております市営住宅四十八戸の給水施設が一個の高架水槽によりまして給水しておりますけれども、水の需要期になりますとその需要を満たすのに支障がありますので、この際高架水槽を一個増設しまして良好な給水体制にいたしたいと思ひます。内容につきましては高架水槽の増設、用水管設備、ポンプ等の工事が主なるものでございます。

続きまして住宅建設費につきまして御説明申し上げます。市営住宅の建設につきましては当初十戸を計画いたしました、県の配分によりまして九戸建設することになりました。内容は耐火構造二階建の四戸連続住宅一棟と五戸連続住宅一棟の合計二棟の九戸で、一戸当たり四十九・六一平方メートル、約十五坪で、二DKの間取りでございます。建設場所は菅野団地を予定しております。

十五節の工事請負費につきましては、建設予定の住宅九戸の付帯工事を合わせまして概算二千七百万算定されますので、当初予算との差額百八十万円を増額しようとするものでございます。

一八節の備品購入費一万三千円につきましては、卓上の小型電子計算機を購入する予定でございます。

○交通防犯課主幹（岩田 実君） 九款の消防費について御説明申し上げます。

三十六万七千円の補正をお願いする次第でございます。一目の非常備消防費でございますが、五節の災害補償費十九万七千円の公務災害補償費でございますが、これは去る三月二十二日の九重千倉にまたがります山林火災に団員四名が公務のため負傷されましたので、これに充当するものでございます。

八節の報償費でございますが十七万円、これは本年三月退職なさいました四名の幹部の方に支給したいというふうに考えるものでございます。

五節、八節の報償費とも基金より収入されております。

一一節の需用費二十八万四千円の減額でございますが、これは市内の各部の四個部の火の見塗装を一括請負をいたしましたためにこの余剰を生じましたのでここに補正をお願いする次第でございます。

それから一九節の負担金及び交付金でございますが、二十五万円の消火栓新設負担金の補正でございますが、亀ヶ原地区に消火栓を新設することを当初計画したわけでございますが、本年度三芳水道にお聞きしますと水道の敷設が本年はやらないというようなお話でございますので、ここに減額をお願いする次第でございます。

二目の消防施設費でございますが、一五節工事請負費として三百七十万円の減額でございます。当初有蓋貯水槽を川崎の一中前の付近、それから西岬の塩見に計画したわけでございますが、一中の東側に団地ができてまして、そこに工務店が自分で貯水槽を建設してくださるということで、これはほとんど位置が同じでございますのでこれを取りやめることになりました。西岬の塩見地区でございますが、土地の関係でどうしても有蓋貯水槽建設不可能ということになりました、ここに二個の建設を取りやめたために三百七十万円の減額をお願いする次第でございます。

一八節の備品購入費三百五十万円でございますが、先ほどの市長提案理由の説明にもございましたとおり、六分団の十四部、こ

れは波左間の消防の部でございますが、いままで小型動力ポンプを積載車に積んで出動しておったわけでございますが、それが十年以上経過いたしておりまして、非常に古くなっておりまして、西岬地区が家屋も非常にふえてまいりました関係上、完成された中型ポンプ車を装備してもらいたいという強い要望がございますので、ここに三百五十万円で消防ポンプ車を購入してまいりたいということでございます。

○教育委員会庶務課長（汐崎政光君） 二〇ページの教育費の中の一項目教育総務費について御説明申し上げます。

二目の一九節負担金補助及び交付金におきまして五万円の追加計上をさせていただいておりますが、これは昨年度安房地方教育委員会連絡協議会が中心となりまして、安房郡市の全市町村長を顧問として、特殊教育に携わっております人たちとともに県立の養護学校を誘致するための期成会を結成したわけでございます。この期成会の経費総額二十万円の中の今年度におきます館山市の負担分が五万円でございます。

その運動と、それから県への陳情、こういった働きによりまして一応昨年度の成果といたしまして今年度に入り神戸の中里に学校を建てます敷地の確保を県がするまでの段階に現在こぎつけております。今年度はさらに来年度に入りましてから早速校舎をつくってくださるよう働きかけます。こういった計画を立てております。

よろしく願います。

○体育課長（川上賢爾君） 一目の保険体育総務費について御説明を申し上げますが、今回補正をお願いする額は七十万でございます。

すが、七十万の内訳につきましてはあとで御説明を申し上げますが、国のスポーツ振興補助金の追加がございまして総事業百七十万という額が示されましたので、今回追加及び当初予算の組みかえの補正をお願いしようとするものでございます。

八節の報償費でございますが、スポーツ教室の十三万一千円でございます。当初十二万円で五教室を予定しておりましたが、さらに五教室を加えて十教室として実施する実技指導講師の謝礼分の追加をお願いするわけでございます。

次のスポーツテスターの一万七千円でございますが、これは教室に参加した者を対象といたしまして運動能力を測定するためにテスト員の八名と医師一名を依頼して実施する謝金の追加をお願いする次第でございます。

それからグループリーダーの謝金十八万円でございますが、これはスポーツ教室を長期にわたって計画的に実施する種目の世話役のリーダーの方々に對する謝金の追加をお願いした次第でございます。

水泳指導者謝金二十七万八千四百円でございますが、これは当初水泳フルバイト賃金でお願いしたわけでございますが、スポーツ振興補助金の補助対象ということで賃金の組みかえをこの指導者謝金ということでお願いをするものでございます。

それからバレーボールの交換大会の参加費でございますが、これは婦人スポーツクラブの補助金として四十五万円当初お認めいただきましたが、このうちの大会参加賞が補助対象経費となるために補助金の組みかえをお願いする次第でございます。

次に十一節の需用費でございますが、消耗品費につきましては

国の補助を得て実施いたしますスポーツ教室の追加分に要します
広報関係の用紙や受講者の卒業、参加証といいますが、終了証を
印刷交付するための用紙代が主たるものでございます。

食糧費でございますが、食糧費のうち会議用食糧費でございます
が、これはスポーツ教室を企画するにあたりまして要するもの
と、計画いたしましたスポーツ教室の各種目別の実技指導者の事
前打ち合わせの会議における経費の追加補正をお願いいたすもの
でございます。

次に大会用の食糧費でございますが、これは婦人スポーツクラ
ブの先ほど申し上げました補助金四十五万円のうち十一月に予定
しておりますママさんバレー大会に要する経費がスポーツ振興費
の補助対象となりますために補助金の組みかえをお願いするもの
でございます。

次の修繕料でございますが、これは昨年の若潮国体で県から三
ばい無料で払い下げをいただいたヨットがございしますが、本年度
ヨット教室を開講いたしましたしてこれに使用いたしました。シーズ
ン後に部品交換や塗装等をいたしまして格納をしておきたいとい
うための経費でございます。

次に自動車修繕料四万円の追加でございますが、これは車検料
の不足分をお願いした次第でございます。

郵便料の関係はスポーツ教室の増加分に関する経費でございま
す。

それから備品購入費でございますが、体操教室に参加をいたし
ました受講者の方々が人数が減りましたしてカラー薄マット二十枚を
十五枚に減らしたものでございます。

それから婦人スポーツクラブ補助金の減額でございますが、こ
れは国の補助対象として組みかえをお願いいたしました大会参加
賞と大会用の食糧費でございます。

次に体育施設費の関係でございますが、賃金二十七万八千円は
先に説明を申し上げました水泳指導者謝金に組みかえをお願いし
たための減額補正でございます。

それから報償費二十万円は、柔剣道場の完成後の竣工式に柔剣
道の演武者に対する記念品代としてお願いしたわけでございます。
それから需用費百九十三万四千円のうち、柔剣道場竣工式に伴
う食糧費一万八千円を抜くほかは温水プールにかかります重油値
上がり分、プールの水の消費薬品、電気料の値上がり分の追加で
ございます。

なお、修繕料六十三万円でございますが、温水プールの合宿施
設部分の屋根が腐食いたしましたして、最近発見されたものでござい
ますが、百九十二平米にわたりますかわらぼうの鉄板ぶきをアル
ミカラーにしてぶきかえをお願いしたいというものでございます。
委託料四万九千円でございますが、ボイラーのばい煙測定委託
料の減額は、契約段階における減によるものでございます。

工事請負費二百万でございますが、これは柔剣道場の工事材料
と人件費の値上がりによるもので、特に武道場のフローア部分の
工事費でございまして、ブナ材によって施工する費用が主たる内
容でございます。

原材料費九十万でございますが、柔剣道場の電気工事が設計見
積もりによりますとかなり膨大な百六十万ということございま
して、内容を検討いたしますと人件費等が相当上がったために増

額になっているということで、市役所の電気技術者に検討いたしてもらいましてところ電氣用品九十万円あれば設計どおりにできるということでございますので、財源の効果的な使用ということから市の直営工事でこれを実施するということでございますお願いをした次第でございます。

備品購入費九十六万八千円でございますが、柔剣道場の完成後にその管理運営に必要な部品でございますして、つい立てとか長机折りたたみいす、予定表や掲示板、姿鏡、用具戸だなや更衣戸だな、げた箱等をお願いいたすものでございます。

○財政課長（長谷川広治君） 以上で歳出の説明を簡単にさせていただきます。

なお、一八ページの第五款の労働費、県の支出金の財源補正が一万八千円でございます。

以上で歳出総額三千六百八十五万三千円ということに相なります。

九ページの歳入でございますが、第七款の交通安全対策特別交付金の額が本年度決定をいたしまして、当初予算差額が四十八万七千円計上してもまだ少額であるというような関係から、今回四十八万七千円を歳入で追加をし、歳出にもそれぞれ追加をいたしたわけでございます。

第八款の負担金関係で三万一千円を計上いたしてございます。これは歳出に対応いたします金額でございます。

第一〇款の国庫支出金におきまして、国庫負担金、補助金合わせまして七百九十二万六千円を追加計上いたしてございます。この内訳は大きなものは九ページの下段にございます災害関係の土

木の負担金六百八万五千円が主なものでございます。

次が一〇ページの中段にございます県の支出金、今回県の補助金と委託金合わせまして総額県支出金で五百二十八万九千円追加計上をしてございます。大きなものは中段にございます漁港の局部改良工事補助金の四百万でございます。

次が二三款の寄附金におきまして百十九万六千円を追加いたしてございます。歳出でも申し上げましたが、このうち百万円が市長より議会用図書室の図書購入費ということで御寄附をいただいで計上してございます。

それから十九万六千円が漁港関係の改築に伴います地元予想寄附金でございます。

次が一六款の諸収入といたしまして、消防の歳出に関連をいたしまして収入になりますもの三十六万七千円を計上いたしてございます。

以上合わせますと千五百二十九万六千円が特定財源ということで、それぞれに対応いたしまして収入が予想されますので、この差額二千五百五十七万七千円に対しまして本年度繰越金を財源として計上をいたしてございます。

以上で歳出、歳入とも簡単にございますが、説明を終わさせていただきます。

議案第七十号 昭和四十九年度館山市水道事業特別会計補正予算（第一号）

○水道課長（大嶋重義君） 議案第七十号について御説明申し上げます。

今回は第一号の補正でございますが、二条以下七条までにお示

いたしましたとおり六件でございます。

そのうちの一つは予定量の補正でございます。上水道におきまして二万立方メートル、それから簡易水道におきまして六万四千立方メートル、累計八十九万一千立方メートルにしようとするものでございます。これは当初の予定に比較しまして年間の給水量の伸びが見込まれますので、このように補正をしようとするものでございます。

二つ目といたしまして収益的収入及び支出の補正でございますが、収入におきまして水道事業の収益で三百二十万九千円今回補正するものでございます。それから支出でございますが、支出におきましては水道事業費用といたしまして同じく三百二十万九千円の補正でございます。合計七千七十九万九千円としようとするものでございます。

三つ目といたしまして資本的収入及び支出の補正でございますが、この収入、支出の総額には今回移動はございませんので、資本的支出の款内の移動についての補正でございます。一項の建設改良費と三項の予備費の当初予算額にそれぞれ十万円の追加、または減額を行ないましてこの欄に掲げたたとりの額にしようとするものでございます。

なお、以上三条と第四条の収入及び支出の補正の内容につきましては、のちほど見積もりの基礎によって御説明申し上げたいと思います。

四つ目といたしまして債務負担行為の補正でございます。今回変更は一件、追加が二件ございます。

変更のものは西部簡易水道の取水工事費でございます。当初千

百万円の工事費でございましたものを五百万円追加いたしました千六百万円に限度額を補正いたしたいと思うものでございます。この西部簡易水道の水源の補給を目的としまして、神戸の犬石のせきの水を取る工事を債務負担行為で当初予算で計画したわけでございますが、資材ほか総務費等の高騰によりまして当初の計画どおりの効果が困難になりましたので、この不足分を追加更正しようとするものでございます。

次に追加の二件でございますが、水道用地の取得事業といたしまして新たに債務負担行為をお願いするものでございますが、これは作名ダムの水源用地の取得関係のものでございます。この水道用地の取得につきましては、ダムをつくるのに直接必要な用地につきましてはすでに昭和四十八年度におきまして買収を終っております。この買収するにあたりまして地元作名部落との用地交渉の際におきましてダムの水没地に隣接する部落の共有林がございますが、これを合わせて買収してもらいたいということで交換条件でございましたので、これを千葉県地方土地開発公社に委託しまして債務負担行為によりまして買収しようとするものでございます。この共有地は全部山林でございまして三十七万八千平米あまりのものでございます。これを支払い期間、限度額につきましてはこの欄にお示ししたとおりでございます。

あと一つの債務損失補償でございます。これはただいま説明申し上げました水道用地の取得事業に關しまして、公社が融資機関に対して債務の損失が生じた場合の補償を債務負担で行なおうとするものでございます。

なお、以上三件の債務負担行為につきましては三七ページをお

開き願いたいと思います。ここにこれらの債務負担行為の調書補正を掲げてございますので、これで細目は御覧いただきたいと思います。

二九ページでございます。五つ目といたしまして一時借入金金の補正をお願いするわけでございます。これは当初予算で四千万円の議決をいただいておりますが、予算補正に伴いまして資金繰りに不足の生ずる心配もございまして、この限度額を六千万円にいたしたいというものでございます。

六つ目といたしまして重要な資産の取得の補正をいたしたいと思っております。これは予算書の第十一条の次に一条を起こしまして追加をお願いするものでございます。公営企業におきましては重要な資産の取得につきましては地方公営企業法で予算で定めることになっておりますので、今回予算の第十二条といたしまして補正するものでございます。この取得しようとする土地は次のページに掲げてございます。種類、名称、数量はここに掲げてあるとおりであります。これは先ほどお話ししました債務負担行為で取得する作名部落の共有の山林が主体でございまして、ほかに浄水場、その他必要な土地を含めたものでございます。

以上で補正予算の説明を終らせていただきます。

次は三四ページをお開きいただきたいと思います。ここで収入支出の見積もり基礎につきまして御説明申し上げます。

収益的支出でございますが、この中で原水及び浄水費におきまして百十万七千円の追加でございます。この中で手数料につきましては塩素ポンベの耐圧試験の手数料が当初の計上の予算の額にいたしました。水の使用がふえることよっての塩素ポンベが使

りことになった。さらに耐圧試験の手数料がふえたということについての不足分の計上でございます。

それから次の動力費でございますが、これは水道で使う電気料でございます。電気料につきましては六月から料金が改定になりました。四月から九月までを昨年までの実績に比較いたしますと約六五%の増加でございます。したがって十一月から三月までの五カ月分の電気料金がこの額を不足いたしましたので計上したわけでございます。

次に配水及び給水費で燃料費を十五万八千円計上いたしました。これは自動車の燃料費でございますが、宮城水道管内でトラックと給水車がございしますが、夏の稼働が予定よりも多く稼働いたしましたこと、ガソリンの値上げということで不足分をこのように計上いたしました。

それから総係費におきまして負担金の三十三万二千円でございますが、総合事務組合の負担金でございますけれども、私どものほうで当初この計算を出すのに計算誤りがちに発見されましたので、ここにその分を計上するわけでございます。

それから簡易水道費におきまして百六十一万二千円の追加でございますが、手数料、動力費とも先ほど上水道の欄で御説明しましたとおりの電気料と手数料でございまして、説明は省略させていただきます。

次に収入でございますが、これに対応いたしますものは水道事業の収益でございます。上水道におきましては宮城と西岬におきましてこのような伸びが考えられますので、ここで計上いたしました。

簡易水道の南部水道におきましてこのような額が見込まれますので計上いたしましたわけでございます。

次に三五ページの資本的収入及び支出でございますが、今回支出だけでございます。委託料の中で水道用地取得事業事務委託金といたしまして千八百三十万円を追加いたしました。これは先ほど説明いたしました水道用地の取得のため千葉県地方土地開発公社に支払う事務委託料でございます。この内訳は取り扱い手数料は事業費の千分の二十五でございますして七百七十五万円でございます。それから利子でございますが、利子が千五十五万円でございます。これは十一月と十二月の二口に分けて支払いいたしますので、この三月の末日までの九・五%の利息でございます。

この委託につきましての財源でございますが、委託料の中で水道施設の実施設計の委託料を今年度組んだわけでございます。これにつきましては国の財政事情等から来年度の実施が困難を見込みになってまいりましたので減額いたしたいと思うものでございます。

それからもう一つ関連いたしましたして、ダム工事の管理委託料二千五百万円当初計上してございますが、これもやはりたたいま申し上げた理由で七百三十万減額いたしたいというものでございます。

もう一つは工事請負費におきまして四百万の減額でございますが、ダムの工事関係につきましてはことしから始めることになっております。これにつきましては近日中に防衛施設庁のほうから補助の決定がまいりますので、この決定を受け次第に入札を行なうわけでございますが、本年度の事業量が先ほど申し上げました

ように減る見込みでございますので減額いたしたいということでございます。

これらの減額のことを追加財源として使用いたしたいというものでございます。

簡易水道費におきまして備品の十万円でございますが、これは西部簡易水道のモーターが現在二台ございますが、有事の際に備えまして、もし故障等があった場合に困りますので一台を、十五キロワットのものでございますが、購入して備えたいというものでございます。予備費をもって充てたいというものでございます。以上で今回補正する収益勘定と資本勘定の収入、支出の見積もりの内訳を御説明いたしましたわけでございます。

次に三一ページに今回の補正に対しての実施計画が計上してございます。なお、一枚めくっていただきまして資金計画が計上してございます。このようなことで水道事業を実施、あるいは資金繰りをしていきたいということでございます。

よろしくどうぞ御審議願いたいと思います。

○議長（吉田勇治郎君） 以上で各議案の説明は終わりました。

休 会

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。

議案調査のため明九月十八日は休会いたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって明九月十八日は休会することに決しました。

延

会 午後零時八分延会

○議長（吉田勇治郎君） きょうの会議はこれにて延会いたしたい
と思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本日はこ
れにて延会することに決しました。

次会は九月十九日午前十時開会とします。その議事は通告によ
る行政一般質問といたします。

○本日の会議に付した事件

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、認定第一号乃至認定第七号、報告第二号、議案第六十三号乃至
議案第七十号

一、休会

